

GPCに基づく都内の温室効果ガス排出量（2016年度）

東京都では、[※]GPC（Global Protocol for Community-Scale Greenhouse Gas Emission Inventories）と呼ばれる国際的な算定手法に基づき、都内の温室効果ガスの排出量を算定しました。

※GPC：イクレイ、世界資源研究所及びC40が共同で開発した、自治体の活動に起因する温室効果ガス排出量の算定手法。日本国内だけでなく、海外の自治体と温室効果ガス排出量の比較が可能となる。

GPCによる温室効果ガス排出量（BASIC）

2016年度の温室効果ガス排出量は **5,856万 t-CO₂**

固定エネルギー（家庭・業務・産業等）：4,694万 t-CO₂

輸送部門：1,009万 t-CO₂

廃棄物：153万 t-CO₂

●スコープ（算定範囲）による分類

・スコープ1（都内の排出量）：1,983万 t-CO₂

・スコープ2（都の内外から受け取った電気・熱等の生成に伴う排出量）：3,848万 t-CO₂

・スコープ3（上記以外の都内の活動により都外で発生（誘発）された排出量）：25万 t-CO₂

（参考）


東京都の温室効果ガス排出量
（2016年度） 6,443万 t-CO₂

<GPCに基づく算定と差が生じる理由>

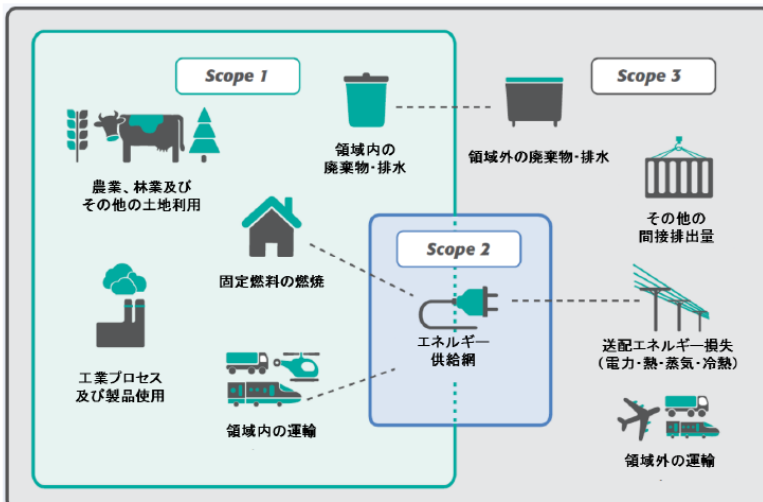
- ・GPCではフロン類等の一部ガスを算定対象から除外
- ・GPCでは廃棄物を焼却し発電した分を合計から除く
- ・GPCでは都内の廃棄物を都外で処理した分を含む

GPCに基づく温室効果ガス排出量（2016年度）

（単位：万t-CO₂）

万tCO ₂ e	BASIC	スコープ1	スコープ2	スコープ3
	固定エネルギー	1,046	3,648	
	輸送	809	200	
	廃棄物	128		25
	工業プロセス・製品使用			
	農林業・その他の土地利用			
	その他のスコープ3			
	合計	5,856万t		

GPCにおいて導入されているスコープの枠組み及び定義について



スコープ	スコープの定義
スコープ1	自治体領域内で排出された温室効果ガス（燃料やガスの使用によるもの）
スコープ2	域内外から供給を受けた電気・熱・蒸気・冷熱の生成に伴う温室効果ガス
スコープ3	上記以外の域内活動に起因して域外で排出（誘発）された温室効果ガス

★スコープ（算定範囲）とは？★

GPCにおけるスコープ（算定範囲）とは、発生条件によって温室効果ガス排出量を区分する概念のことです。スコープの概念の導入によって、どこでどのように温室効果ガスが発生しているか、その責任所在を明確化することができます。

■ 2016年度のGPCに基づく温室効果ガス排出量（詳細）

温室効果ガス排出源（部門別）		温室効果ガス総量（tCO ₂ e）					
		スコープ1	スコープ2	スコープ3	BASIC	BASIC+	BASIC+ S3
固定エネルギー	エネルギー利用（I.4.4を除く全排出量）	10,459,145	36,477,566		46,936,711	46,936,711	46,936,711
	グリッド（送電網）に供給される発電電力量(I.4.4)	5,607,316					
輸送	（IIの全排出量）	8,088,632	1,999,662		10,088,294	10,088,294	10,088,294
廃棄物	都市内の廃棄物発生量（III.X.1及びIII.X.2）	1,284,341		249,188	1,533,529	1,533,529	1,533,529
	都市外の廃棄物発生量(III.X.3)						
IPPU	(IVの全排出量)						
AFOLU	(Vの全排出量)						
その他のスコープ3	(VIの全排出量)						
TOTAL		25,439,434	38,477,228	249,188	58,558,534	58,558,534	58,558,534

GPC参照番号	温室効果ガス排出源（部門別及び下位部門別）	温室効果ガス総量（tCO ₂ e）				
		スコープ1	スコープ2	スコープ3	総量	
I	固定エネルギー					
I.1	住宅建物		5,068,029	11,776,824	NE	16,844,853
I.2	商用・公共用建物及び施設		3,466,502	22,303,748	NE	25,770,250
I.3	製造業及び建設業		1,796,017	2,393,609	NE	4,189,626
I.4.1/2/3	エネルギー産業		IE	IE	NE	
I.4.4	グリッド（送電網）に供給される発電電力量		(5,607,316)			
I.5	農林水産活動		127,654	3,385	NE	131,039
I.6	非特定発生源		NO	NO	NO	
I.7	石炭の採掘、加工、貯蔵、及び輸送からの漏洩排出量		NO			
I.8	石油系統及び天然ガス系統からの漏洩排出量		943			943
小計	（都市内活動に起因した排出量のみ）		10,459,145	36,477,566		46,936,711
II	輸送					
II.1	自動車		7,880,556	IE	NE	7,880,556
II.2	鉄道		NO	1,999,662	NE	1,999,662
II.3	船舶		176,634	NO	NE	176,634
II.4	航空		31,441	NO	NE	31,441
II.5	特殊自動車		NO	NO	NO	
小計	（都市内活動に起因した排出量のみ）		8,088,632	1,999,662		10,088,294
III	廃棄物					
III.1.1/2	都市内で発生した固形廃棄物		489,078		NO	489,078
III.2.1/2	都市内で発生した生物系廃棄物		NO		NO	
III.3.1/2	都市内で発生した焼却廃棄物及び燃焼廃棄物		653,856		249,188	903,044
III.4.1/2	都市内で発生した排水		141,407		NO	141,407
III.1.3	都市外で発生した固形廃棄物		(NO)			
III.2.3	都市外で発生した生物系廃棄物		(NO)			
III.3.3	都市外で発生した廃棄物の焼却や野焼き		(NO)			
III.4.3	都市外で発生した排水		(NO)			
小計	（都市内活動に起因した排出量のみ）		1,284,341		249,188	1,533,529
IV	工業プロセス及び製品の使用					
IV.1	都市境界内で発生する工業プロセスからの排出量		NE			
IV.2	都市境界内で発生した製品使用による排出量		NE			
小計	（都市内活動に起因した排出量のみ）					
V	農林業及びその他の土地利用					
V.1	家畜からの排出量		NE			
V.2	土地からの排出量		NE			
V.3	土地上の複合発生源と非CO ₂ 排出源とからの排出量		NE			
小計	（都市内活動に起因した排出量のみ）					
VI	その他のスコープ3					
VI.1	その他のスコープ3					
TOTAL	（都市内活動に起因した排出量のみ）		19,832,118	38,477,228	249,188	58,558,534

※2つの表は、C40のHPで公表されているGPC算定・報告用ツール（CIRIS）に基づき作成

※上側の表には、グリッド（送電網）に供給するための都内発電設備からの排出等都外活動に起因した排出量も含まれます。

※下側の表は、都外活動に起因した排出量は合計に含んでいません。

※表中のアルファベットの意味は、次のとおり。IE：分類不能 NE：非推計 NO：非発生